



国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

お知らせ

記者発表資料	平成26年8月28日
配布日	

資料提供先：岡山県政記者クラブ
岡山市記者クラブ

～ 中国地方管内で初めて せき 堰カードを発行します ～

吉井川の坂根堰では**中国地方管内で「初」となる堰カード**を作成しました。9月1日からカードの配布を開始しますので、是非、カードをゲットして下さい。

中国地方整備局岡山河川事務所では堰への理解を深めてもらうことを目的に堰カードを作成しました。

ダム形式や諸元が記載されたダムカードの配布は平成19年度から国土交通省と水資源機構、一部の都道府県等が管理するダムで配布が始まりましたが、現在では全国で347施設（中国地方管内54施設、岡山県内15施設）でダムカードが配布されており、各地のダムカードを収集する方も沢山います。

ダムカードと同様に堰カードを求めて坂根堰に来訪される方が増えてきたことから、9月1日より来訪者限定で堰カードの無料配布を行うことになりました。※現在、中国地方管内のダムで配布されているダムカードを多く集めて頂いた方には、収集枚数によって「中国地方ダムマニア認定書」が交付されるイベントを国土交通省中国地方整備局で行っています。

(URL : <http://www1.cgr.mlit.go.jp/chisei/kisha/2014jul/140725top2.pdf>)

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

電話 086-223-5101 (代表・総務課)

電話 0869-66-7631 (管理第2課(坂根分室))

【担当】

副所長 川島 明昌 (内線205)

管理第2課長 小島 久邦 (内線69-21)

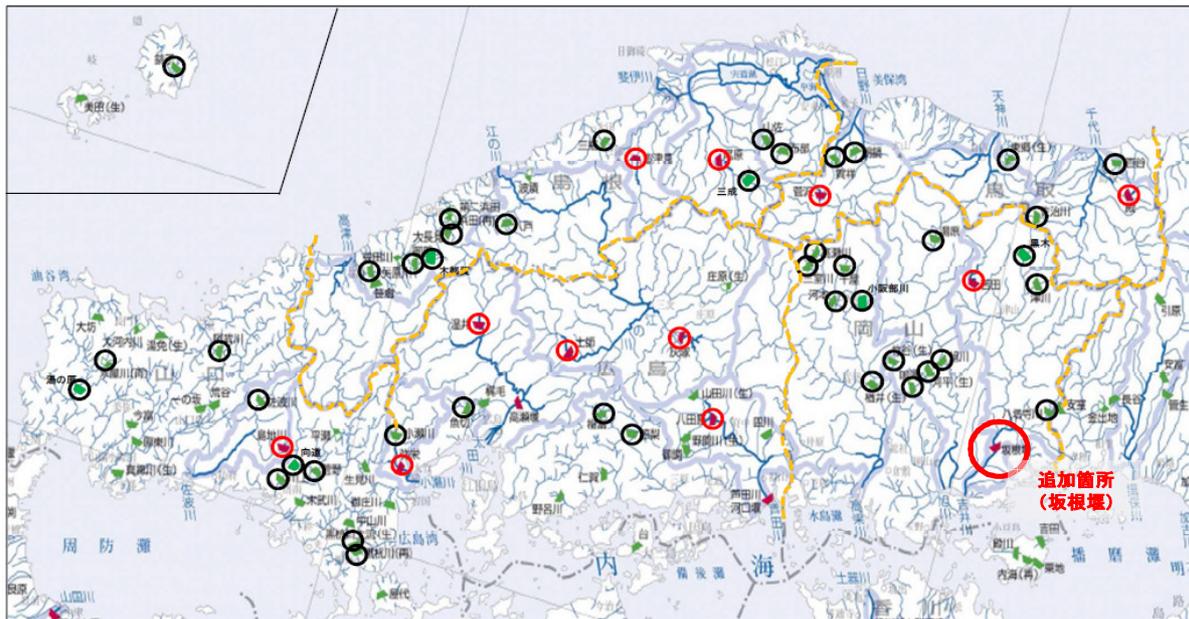
～岡山河川事務所では中国地方管内で初の堰カードを発行します～

ダムカードはダムや堰への理解を深めてもらうことを目的に平成19年度から国土交通省と水資源機構、一部の都道府県等が管理するダムで配布を始めました。今では各地のダムカードを集めている方も多く坂根堰にもカードを求めて来られるため、堰カードを発行することにしました。

ダムカードは、平成26年4月現在、全国の国土交通省、水資源機構、県の補助ダム等の347施設で配布中です。

＜中国地方でダムカードを配付しているダム＞  直轄ダム  補助ダム・利水ダム

平成26年8月28日現在



岡山県内は、平成19年度から国土交通省の苫田ダムで配布を始め、昨年(平成25年7月)からは、岡山県が管理するダム14施設でも配布を始めました。堰のカードとしては、中国地方管内で初めての配布になります。

このアルファベットは、堰の目的を表しています。
 F: 洪水調節 N: 流水の正常な機能の維持(河川環境保全)
 A: かんがい用水 W: 水道用水 I: 工業用水

(おもて)



このアルファベットは、Movable Barrage を略したもので、可動堰という意味です。

(うら)

DAM (BARRAGE) - DATA

所在地: 左岸/岡山県備前市坂根地先
 右岸/岡山市東区瀬戸町大内地先
 河口から17km360m地点

河川名: 吉井川水系吉井川

形式: 可動堰

ゲート: 鋼製ローラーゲート×5門 吉井川のシンボルマーク
 起伏ゲート付2段ローラーゲート×2門
 放流孔×1門

魚道 ゲート3連(左岸)/ゲート7連(右岸)

堤高・堤頂長: 4.9m・279.2m
 総貯水容量: 220万m³
 管理者: 国土交通省
 本体着工/完成年: 1973/1979年
 詳しいデータはこちら→<http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>

ランダム情報

・岡山平野の重要な水脈である吉井川には、古くから幾つもの堰があり、坂根堰は3つの堰を被覆してきたという歴史的背景があります。
 江戸時代、津田永忠【岡山藩士】は新田開発のため、百枝月堰を築いて、吉井堰を石造りの斜め堰に改築し、旧坂根堰を築造しました。そして戦後、治水、利水、環境の観点から、老朽化した両堰を被覆合する計画に基づき、現在の坂根堰が建設されました。

こだわり技術

坂根堰には、両岸に開閉式魚道があります。春には鮎やオオヨシノボリ、夏にはハヤ(オイカワ)、時にはナマスまで魚道を利用して、堰の上下流に分断されることなく、行き来しています。



魚道を遡上するナマス